

浅間山の火山活動解説資料

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・情報センター

本日（13 日）、気象庁及び東京大学地震研究所が群馬県の協力を得て上空からの観測を実施しました。2 月 9 日から 12 日に発生した噴火による降灰が、山頂火口の北東側に認められました。

浅間山では、火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）が継続中です。

山頂火口から 4 km の範囲では、噴火に伴う大きな噴石（風の影響を受けず弾道を描いて飛散する大きさのもの）の飛散等に警戒が必要です。

○ 上空からの観測結果

本日（13 日）、気象庁及び東京大学地震研究所が群馬県の協力を得て上空からの観測を実施しました。

山頂火口からは、白色の噴煙が高さ 100～200m 上がり北東方向に流れていました。山頂火口内は噴煙が充満し、火口底の状況は確認できませんでした。

2 月 9 日から 12 日に発生した噴火による降灰が、山頂火口の北東側に認められました。また、東側から南東側にも、わずかな降灰が認められました。



図 1 浅間山 火口北西上空から撮影（2 月 13 日 10 時 32 分）

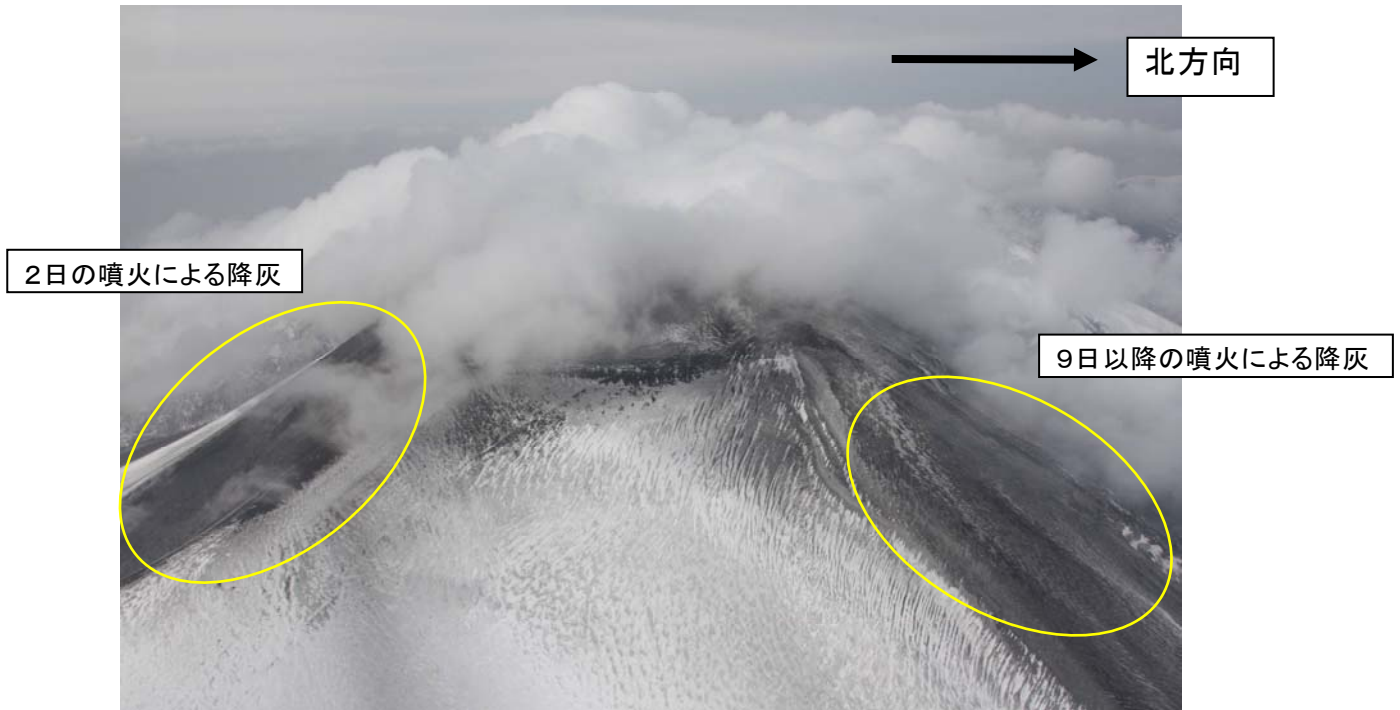


図 2 浅間山 火口東上空から撮影（2 月 13 日 10 時 33 分）



図 3 浅間山 火口東北東上空から撮影（東京大学地震研究所撮影、2 月 13 日 10 時 45 分）
山頂の東側にも 9 日以降の噴火による降灰が認められた（図中黄色の円）